

岐阜県郡上市明宝方言の立ち上げ詞

山 田 敏 弘

I. はじめに

1. 調査対象地: 平成 16 年 3 月に合併し郡上市となった郡上郡 7 町村のうちの 1 つ。
岐阜県は美濃地方と飛騨地方に分かれるが、南半分の美濃地方最北部の地域の 1 つである。主には林業と鉱山の町として独自の文化を築いてきた。近年は高山と郡上、さらには岐阜とを結ぶ街道として開け、「せせらぎ街道」は秋の紅葉の名所である。昭和 37 年に設立された民俗資料博物館には 4 万点を越える民俗資料が揃い、評判が高い。最近では、「明宝ハム」やトマトケチャップなど、加工食品でも名高い。
2. 調査年月日: 2005 年 11 月 4 日 午後 5 時 45 分から午後 7 時まで
3. 話者 : 原義典さん (昭和 22 年生)、国田良美さん(昭和 23 年生)
4. 調査者・調査場所: 山田敏弘・明宝コミュニティセンター
5. 調査方法: 統一調査票による質問調査
6. その他: ①アクセントは、棒引きアクセント。高さの山に棒を引く。
②必ずしも統一質問文の通りでなくても、回答された文例はなるべく多くを掲げることにした。話者のコメント、調査者の気づきは<>内に記した。

II. 調査結果

1. 自己の自発的な行動を立ち上げるために、自己に向かって発信する「立ち上げ詞」
 - (1)どっこいしょ。一休みしよう。
○ドッコイショ。ヤヌモカエ。
 - (2)どうれ。出かけることにしよう。
○ホンチラ、イヨカ。
 - (3)よいこらしよ。とうとう山の天辺に着いた。
○ア クタビレタ。ヤツトテッペン ツイタチ。
 - (4)しまった。もうちょっとで落ちるところだった!
○アブナイトコ ヤッタチー。モーチョットデ オチヨッタ。
 - (5)くわばらくわばら。恐ろしかった!
○オツガワッタチー。<クワバラは使わない。>
 - (6)しめた! 今度の魚は大きいぞ。
○ヨッシャー。コイツァ オーッキープ。
 - (7)ままよ。飛び越えるしかない。
○マー トブシカシャーネーチー。 <ママヨに当たる表現はない。>
 - (8)なにくそ! 負けてなるものか。

- クツソダーケメア、マケスガヨ。
- (9)しめしめ! 誰も気がついていない。
○ヨシッ、ダーレモキーツイトラン。
- (10)ちえっ。つまらないなあ。
○シヤーナイナー、(クソ)オモシロナイナー。<クソが付くと程度が強くなる>
- (11)ちくしょう! 仕返しをしてやる。
○クソツタレガア、イマニ ミテミー。
- (12)くそっ! 覚えている!
○クソツタレガア、オボエテサレ。 <イサレは卑罵表現の補助動詞>
- (13)おやおや、いったいどうしたの。
○アラアラ、下ーシタンヤ。 <アラアラはオリョオリョのようにも言う。イッタイのように強めることばはない>
- (14)えへん、えへん。吾輩は村一番の力持ちじゃ。
○(アァン)、オレアイチバンチカラ アルヤロ。オマアーラニワ マケンゾ。<アァンは咳払いであって文字にはできない。>
- (15)はてな、ここはどこだろう?
○アレーッ、マテヨ、ココ ドコヤツカヤ。

2. 他者の発話に呼応して、応答の発話を立ち上げる「立ち上げ詞」

- (16)はい、承知いたしました。
○ハイハイ、ヨク ワカリマシタ。<かしまった場面では共通語を使う。>
- (17)はい。宜しゅうございます。
○ハア、テッコーデ ゴザイマスヨ。<インデナイデスガも使う。>
- (18)ええ、ここに居ます。
○エエ、ミエマスヨ。<ウンも使うが、より丁寧なのはエエ。>
- (19)んだ。私の傘です。
○セヤ、オレノヤ。
- (20)さよう、さよう。あなたの言う通り。
○ソリヤオマエノユートーリヤ。<ソリヤは2回繰り返さない。ジョーヤということばで肯定する場合もあると別の質問項目に関連して出てきた。ジョーヤは「定だ」との語源意識がある。>
- (21)ほいきた。おやすいご用です。
○オーヨシヨシ、ワカッタ。<ヨシキタで受けることもある。「おやすいご用」にあたる表現は使われない。>
- (22)よっしゃ。やりましょう。

○ヨシキタ、ヤツトグワ。

(23)よきた。お引き受けいたしましょう

<聞き忘れた。>

(24)がってんだ。一緒に行きましょう。

○ワヲッタ。イコカ。<「がってんだ」に相当することばはない。>

(25)かっぱのへだ。簡単だ。

○ワンチモン、ヘノカップヤ。チョロイモンヤ。セワナイ セワナイ。

(26)いえいえ、とんでもございません。

○イエイエ、下ンデモナイ。

(27)なんの、たいしたことではございません。

○ソナナコト、キニシナレンナヨ。

(28)なあに、擦り傷(すりきず)ぐらい、すぐ治るさ。

○チーニ、コンナモンヤ チンデモナイ キズヤ。ソニヒドナー。

(29)なにさ、いつも調子の良いことばかり言って!

○チンヨ、チョーシノエーコトバッカ イッテ。

(30)いやはや、とんだ目に遭(あ)いました。

○イギイイイイヤ、ソトニキョーワ、下ンタヌニ アッタ。<「いやはや」にぴった
りくる表現はない。>

(31)へん、勝手にしやがれ。

○ドダーキヤー、スギナヨーニ モーヨ。

(32)なめるんじゃねえよ。こいつ!

○ソー オレノユーコト ターケニセンナヨ。

(33)冗談じゃない。口から出任せを言って!

○ソナナコト、デキスカヨイ。

(34)だまらっしゃい。出鱈目(でたらめ)ばかり言って!

○チート ダマツトレヨ、ムチャクチャナコト ユーナヨ。ヤクタイモナイコト ユツ下
ルシ。ウツバツ ユーナイカイ。

(35)そうは問屋がおろさねえ。黙っていらねえ。

○ソナウマイコトワ ナワローチー。<「黙っていらねえ」に相当する部分は聞き
そびれた。>

(36)うそもへちまもありやしねえ。我慢(がまん)できねえ。

○ソナナモン ミソモクソモ イツシヨヤモン。<嘘、でたらめなこと、オーバーなこ
とを言われた場合の表現。この場合に適当な表現ではないかもしれない。>

(37)寝言は寝ていえ。このやろう。

○ソ^ンナ^アホ^ナ ハナシ アルカイ。

(38)あたりきしやりきのけつ^のあな。当たり前だ!

○ア^ツタ^リマ^エノ^ケツ^ノア^チヨ^ー。

(39)きみようきてれつだ。それは変だ。

○ソ^ンナ^コト^ワ、アル^ワケ^ナイ^ヤロ^ー。

(40)ほほう、それは親孝行なお子さんですね。

○ホ^ー、エ^ライ^モン^ヤチ^ー。タイ^シタ モン^ヤ。

(41)まいったまいった。しかたがない。

○ヨ^ワツ^タナ^ー、シ^ャー^ナイ^デ チ^ラ イ^ツキ^ダケ ヤ^ラシ^テモ^ラウ^ワ。<イ^ツキは「一期」。任期を限って引き受けることを提示する。>

3. 他者との関係を立ち上げるために、他者との言語情報を結節する「立ち上げ詞」

(42)もしもし、すみません。役場はどこにありますか。

○ア、チ^ョット、スイ^マセン、ヤ^クバ、ド^コニ^アル^チ。<「もしもし」は電話では使うが、人を呼び止める際には使わない。年寄り「ド^ツチ^ノホ^ーヘ^イツ^ラエ^ーチ」と方向を尋ねるとのこと。>

(43)のうのう、旅の人。お立ち寄り下さい。

○チ^ョット ヨ^ッテ ミ^テカ^ッセ^ヨ。<呼びかける「のうのう」に当たる表現は適当なものが得られなかった。>

(44)ほら、ご覧下さい。向こうに公園があります。

○オ、チ^ョット ミ^テミ^ーヨ。ア^ソコ^ニコ^ーエ^ンガ^{アル}ガ^(ナ)。

(45)やいやい。こんなに朝早くからどこへ行くんだ?

○オ^ーイ、オ^マー^ラ、チ^ンヤ、コ^ンチ^ハヨ^ー、下^コ イ^クン^ヤ。

(46)よう、兄弟。これから何をするつもりだい?

○オ^ーイ、[人名]、チ^ニ ス^ルン^ヨ。

(47)いざ、さらば。

○チ^ラ、ダ^ンキ^デ ヤ^レヨ。 <ホ^ンチ^ラ コ^コデ ゴ^ブレ^ース^ルウ^イもあるが、気取った感じではない。タ^ツシ^ヤデ^チナも意識的に使ったことはあるが、いつも使う表現ではない。>

(48)ささ、ご遠慮無く、召し上がって下さい。

○サ、下^ーゾ エ^シリ^ョノ^ー ア^ガツ^クレ。

(49)さて、そろそろ一服しませんか。

○オ^ーイ、キ^ュー^ゲー^ヤゾ。ヤ^スマ^ンカ^イ。<最後の終助詞「カイ」の「イ」はやや広

い母音。>

(50)これこれ、ちょっと静かにしなさい。

○チヨット、コラ、シズカニ センカイ。

(51)おい、こら。万引きをしてはいけない。

○コラ、テメーチニ ヤッタンヤ。ヒトノモン 下ッたら ダシカンヤロ。

(52)おどりゃあ。いい加減にしないか!

○ヨリヤー、テメー エーカゲンニシトゲヨ。

(53)おのれ、裏切りやがったな。

○クソダーケガ、ウソツキヤガッテ。<「おのれ」にぴったりする表現は得られなかった。>

(54)どっこい。その手には乗らない。

○モーイーデスワ。ボクワソエーモン キョーミナイデ。<「その手には乗らない」にぴったりする表現はない。ほかに「キョーワ エーワイ。」として訪問販売などを断ることもある。>

(55)どうだ、参ったか?

○下ヤ、モー コーサンヤロ。モー エーヤロ?

(56)せいの、よいしょ!

○セーフ、ヨイショ。

(57)ようい、どん!

○ヨーイ、下ン。<ヨーイ、スタートも使う。>

(58)いっせいの、で!

○セーフ。または ○イチニーフーザン。

(59)よいしょ、よいしょ、もう一息だ!

○ヤッセー、ワッセー。モーチヨットヤ。<ヤッセーの語頭音は「ヤ」と「ヨ」の中間的な音。>

(60)うんとこしょ、どっこいしょ。もう少しだ。

○ヨイショッ、ヨイショッ、モーチヨットヤ。

(61)わっしょい、わっしょい、祭りだ、わっしょい。

○ワッセ、ワッセ。<御輿は町のもので明宝にはなかった。一時期やっていたときには、「町っぼい」ワッショイを避けて、ワッセと言っていた。>

(62)はじめはぐう、じゃんけん、ぼん! あいこでしょ。

○ジャンケン、ボイ。<2つのチームに分かれるときには、「ダーナシハイ!」といって、チョキとパーでチームに分かれた。>

(63)きをつけえ、まえへならえ、なおれ。

○キオツケ、マエナラエ、ナオレ。

(64)きりつ、れい、ちゃくせき。

○キリツ、レー、チャクセキ。

(65)ばんざい、ばんざい。やった、やった!

○ワー、ヤッター。

(66)えいせいおう。頑張るぞ。

○エイエイオー、ガンバルゾー。〈指導する先生によって表現は様々。〉

(67)中村君の誕生日を祝して、かんぱい。おめでとう。

○カンパイ!

(68)やっほう、やっほう。

○ヤーイ 〈ヤッホーは外来っぽくて気恥ずかしいが言わないことはない。〉

(69)ふれえ、ふれえ、白組。

○フレー、フレー。

(70)おにはそと、ふくはうち。

○オニワースト、フクワーウチ。

(71)べらぼうめ、とんでも無い子だ。

○タワケー、タイモナイヤッチャナー。〈クソツタレーも使う。「タイモナイ」は「とんでもない」であるが、愛知県などのように悪い場合だけでなく、誉める場合にも使う。〉

(72)それみたことか、わんぱく坊主。

○ワレミー。または○ワレミテミー。

(73)ざまあ、みろ。いい気味だ。

○ターケガー、ドスケノカワヨ。〈ドスケノカワは「いわんこっちゃない」「それみたことか」にも相当する。語源は不詳。〉

(74)「ちくしょうめ、ひどいことを言いやがる。

○チクショーメガー、オゾイ コト イースツタツ。

(75) (畑を荒らす動物にむかって) このやろう。どうしてくれようか。

○ドンチクショーメガ、ワナデモ カケテ クレヨーカー、ヨンド ミツケタラ、タダジャ オカンゾ。

(76)たわけ、ふざけた事を言うんじゃない。

○クソツタレ、ドターケタコト イッ下ツタラ イカンワイ。

(77)ばかやろう、いい加減なことを言うな。

○クツツタレ、エーカゲンナヨト ヌーナ。<「いい加減なこと」はトロクサイコトとも言う。>

(78)あなかま、静かにしなさい。

○チヨット ダマツトツテクレヨ。<「あなかま」に当たることばはない。>

(79)しいいっ、静かにして!

○シー、ダマツトレヨ。

(80)ちちんぷぶい、蛙、蛙、生き返れ。

○チチンブイブイ。ナオレ ナオレ。<蛙に対して生き返れという場面については回答得られず。代わりに、「傷が治れ」という場合について聞いた。>

(81)あっかんべい、鬼さん、こちら。

○アッカンベー、オニサン、ヨチヲ、テノチルホーエ。<半ば歌なので、アクセント記号が適当であるかはわからない。>

(82)あっぱれ、お見事。立派です。

○オー ヨーヤッタチー。タイシタモンヤ。<タイシタモンの代わりに、ドエリヤーモンも使用。>

(83)でかした、でかした。日本一。

○ヨーヤッタ、ヨーヤッタ。<かぼちゃについては、ドエリヤーデカイコト ツクラシタチーのように言う。「日本一」に対することばはない。>

(84)しっけい! すみません。

○ア、スマン、スマン。

(85)あばよ、達者でな。

○ジャーチ。<小学生は昔、アバということばを使っていた。今はバイ。>

以上

注

限られた時間の中で調査を行ったため、立ち上げ詞以外の部分については、省略したものもある。

(やまだ としひろ 岐阜大学教育学部)